

様式 3

会 議 録

会議名 (審議会等名)		さがみはら森林ビジョン審議会		
事務局 (担当課)		森林政策課 電話 0 4 2 - 7 8 0 - 1 4 0 1 (直通)		
開催日時		令和 7 年 3 月 1 0 日 (月) 1 3 時 3 0 分 ~ 1 5 時 4 5 分		
開催場所		津久井総合事務所 3 階 第 1 会議室		
出席者	委 員	6 人 (別紙のとおり)		
	その他			
	事務局	6 人 (森林政策課長、他 5 人)		
公開の可否		☒ 可 ☐ 不可 ☐ 一部不可	傍聴者数	1 人
公開不可・一部不可 の場合は、その理由				
議 題		1 開会 2 あいさつ 3 議事 (1) 令和 5 年度さがみはら森林ビジョン実施計画の進行管理について 4 その他 5 閉会		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

1 開会

2 あいさつ

事務局で開会し、森林政策課長挨拶の後、次第に従い、会長が議事を進行した。

3

審議に先立ち、会長から事務局に会議定足数及び傍聴者の有無について確認がされた。

委員の過半数以上の出席と傍聴希望者がいることを報告し、審議会での承認を得た後、傍聴者が入室した。

(1) 令和5年度さがみはら森林ビジョン実施計画の進行管理について

第35回さがみはら森林ビジョン審議会において審議した「重点事項その1」の7事業の「事務事業に対する意見」について、事務局から実施計画評価結果一覧表に基づき説明し、事業所管課の対応に対する質疑応答及び審議を行った。

【「重点事項その1」に係る審議会からの意見、質疑応答等】

〈事業コード1-2-1 さがみはら森林ビジョン普及・啓発事業（No.1）〉

（松本会長）市と協定を締結している大学とあるが、基本的には林学や森林科学等と関連のある分野との連携を検討していただきたい。日本ではそれらの分野を専攻する大学が約30程度あるため、是非協定を締結し連携を図っていただきたい。

〈事業コード3-1-1 「相模原市市民の森整備事業」（No.2）〉

（石原委員）この事業は、審議会からの評価項目に対する評価と、事務局による評価に齟齬があった経過がある。目標に対する進行管理をするにあたり、評価軸がぶれてしまうのは望ましくないため、今後森林ビジョンを改定する際にも適切な進行管理を行えるよう留意いただきたい。

（松本会長）ナラ枯れ被害木が多く見受けられるように感じるが、被害の傾向はいかがか。

（事務局）令和3年以降神奈川県内ではナラ枯れ被害が海岸部から北上しており、令和5～6年あたりは相模原市の被害はピークに達している。これからは収束傾向が見込まれる。

（松本会長）枯れて被害が出る前に伐採し、活用していくことを検討していただきたい。

（淵上委員）ナラ枯れ材を使って学校机の天板を製作しているが、実際に机になるのは約4割程度で、残りの約6割は在庫として保管している。ただ、枯れの程度が大きいものは活用しづらいため、大きく枯れる前のものを使えた方が望ましい。

（松本会長）小学校以外に、市役所の机等にもさがみはら津久井産材を活用して普及啓発してい

くという姿勢は必要なのではないか。

(杉本委員) ナラ枯れ被害がピークを迎えつつあるという話があったが、もう少し延長すると考える。名倉や佐野川周辺では太い木に入れなかった病害虫が、細い木に侵入している例が見られるため、今後は相模湖付近でもそのような傾向が見込まれる。調査していく必要がある。

(増田委員) ナラ枯れ被害以外にも、フジのつるの被害を懸念しているがいかがか。

(杉本委員) 伐採時に倒木しなかったり、材の形質をゆがめてしまっている例は散見される。危険であることには違いないと思われる。

(松本会長) 気候変動によって前例に無い危険性が発生する可能性がある。早めにモニタリング等の実施を検討されたい。また、水源林は企業等も着目しやすいため、積極的に PR いただきたい。

〈事業コード 3-3-1 企業の森の整備 (No.3)〉

(松本会長) 相模川の中流や下流周辺に本社があり、森林に関心のある企業等があれば積極的に PR していただきたい。「水」に関心のある企業は多く見受けられるので、水源に着目して企業への働きかけを行っていただきたい。

〈事業コード 4-1-1 さがみはら津久井産材素材生産量の拡大 (No.4)〉

(松本会長) 川上の事業者としては、この数値はこれから大いに伸ばせる見込みはあるのか。

(杉本委員) 間伐材となると厳しいが、主伐による方法であれば増加は見込まれる。ただ、相模原市は林道が狭く、車が通りづらいという課題がある。

(山崎副会長) 林道が狭いと運搬車両を近づけられない。森林だけでなく今後は林道の整備についてもより意識を向けていただかないと、施業がままならない。

(松本会長) 昨今発生している山林火災についても、林道整備によって被害拡大の予防になる。実際に火災現場では道によって延焼が止まっている例が見られた。整備を行って、火災予防の見本林を設けるなどのアイデアも良い。

(杉本委員) 地域間では立木の成長量等に差があり、相模湖や長竹は成長量が大きいように見受けられるが、青根や藤野の積雪のある地域ではそうではない。佐野川周辺の立木は背も高く密度が高いといった特徴がある。

〈事業コード 4-1-3 地産地消の促進 (No.5)〉

(松本会長) 相模原市ではさがみはら津久井産材で家を建てた場合に意向調査等は実施しているのか。

(事務局) さがみはら津久井産材を使用して住宅を建てた施主に対して、補助金交付事業を行っており、年間 10 件以上の交付実績がある。意向調査は実施していない。

(松本会長) 住民等で地域産材に強くこだわりを持っている人はそう多くないと思慮するが、ど

のようにPRしているのか。

(事務局) さがみはら津久井産材利用拡大協議会構成員の工務店等が、施主に補助金について周知している。

(松本会長) 素材生産量約6,000m³が実際どのように利用されたか把握はしているのか。

(杉本委員) 主にA材は津久井貯木場に運搬し、B材は製材所で主に合板として販売される。それ以外の材はバイオマス発電のチップ等として利用されている。

〈事業コード5-1-1 市有林整備事業 (No.6)〉

(増田委員) 木もれびの森の整備について、もう少し早く整備を進められないか。市民も多く通行するため、緊急性は高いように思う。貴重な都市部の森林として適切に管理いただきたい。

(杉本委員) 全面的にではなく、区画的に整備していくべきである。

(事務局) NPO 法人の方にも萌芽更新等行っているが、70ha程度の広さがあり、追いついていない状況である。

(松本会長) 木もれびの森への来訪者数を把握すべきである。来訪者数を多く観測できれば整備するうえでの大きな根拠となる。

(山崎副会長) 広葉樹の高木化が進んでいる。枯れたから伐るのではなく、枯れる前に伐採や枝打ちが必要である。

(淵上委員) 胸高直径が100cmを超えるものは近くの製材所に運べないという点もある。

(松本会長) 全国的にも製材所が減少している傾向があるため、林業だけでなく製材業への振興も検討していただきたい。

〈事業コード5-1-1 私有林整備事業 (No.7)〉

(松本会長) 県の動向に依存しすぎるのは林業事業者にとっても危険であるため、公共的建築物への利活用を推進し、木材使用量を一定量確保できることが望ましい。

(杉本委員) サクラについても老木化が進んでいるため、倒木の前に伐採を検討すべきである。

(松本会長) 街路樹は根を強く張れる環境にない傾向があるため、植樹の時点で十分な土壌が必要である。

【「重点事項以外の取組」に係る審議会からの意見、質疑応答等】

(増田委員) No.29の再生可能エネルギーの利用促進について、「審議会から事務事業に対し意見がある場合の意見」の記述が不十分ではないか。

(松本会長) 実現の可否は別として、Jクレジット制度についてはモニタリングが必要である。

また企業の森を推進していくうえでも、森林認証等で持続可能な森林としての付加価値をつけることも検討は可能である。

(淵上委員) No.8の津久井産天板交換事業に関して、学校における暖房の燃料としてペレットを

活用する旨の意見があるが、そのようなことは可能なのか。昨今ペレットを作りたいという人も出てきている。

4 その他

〈さがみはら津久井産材の公共施設への利用状況について〉

事務局より、同資料に基づいて報告を行った。

（松本会長）234 m³というのは、使用した材積という解釈で間違いないか。

（事務局）間違いない。

〈さがみはら森林ビジョンの改定について〉

石田森林政策課長より、同資料に基づいてビジョンの改定に向けて現状や課題等について説明を行った。

（松本会長）神奈川県の水源環境保全・再生施策が具体的に定められるのはいつ頃か。

（事務局）今年の6月頃には計画の素案を出すとのこと。その時点では期待される取組等について概ね定まる予定である。それに基づく基本政策等は令和8年度中に検討される見込み。

（石原委員）現行では県民の超過課税を財源としていたが、次期についても同様であるのか。また森林環境税との区別についても留意いただきたい。

（増田委員）次期大綱においては、今後の大規模開発工事などで、山林の伐採、用地造成、盛り土での豪雨被害土砂崩れのおそれ、残土の不適切処理による水の汚染など、様々なことが考えられる。森林環境の保全・整備がより重要になっていくということに留意いただきたい。

5 閉会

以 上

さがみはら森林ビジョン審議会 出席者名簿

(５０音順)

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	石原 朗	公益社団法人 相模原市観光協会 専務理事		出席
2	杉本 貴広	有限会社 杉本林業 取締役		出席
3	淵上 美紀子	一般社団法人 さがみ湖 森・モノづくり研究所 代表理事		出席
4	増田 和美	公募委員		出席
5	松本 武	国立大学法人 東京農工大学大学院 農学研究院 准教授	会長	出席
6	山崎 和彦	さがみはら津久井森林組合 代表理事組合長	副会長	出席